

友だちっていいなあ。人げんっていいなあ

ねらい: どんなに幼くても、誰かの役に立つことができます。一步一步、すすんでいくために、何ができるかを考え、とりくんでいく気持ちや態度を育てます。

所要時間: 40分程度

準備物: 「マイ・プラン」ワークシート -1

すすめ方

時間	内容	留意点
導入	誰かに支えられている私 ・困った時、つらい時、頑張らないといけない時、誰かに励まされたり、助けてもらったりして、元気をもらっています。	・教師が自分の体験をわかりやすく伝える。
主活動	「してもらってうれしかったこと」をつづる ・いろいろな人に、いろいろなことをしてもらっていることに気づく。 ・発表する。 友だちのために、役立つことをしよう ・みんなの発表を聞いて、自分もできそうなことを見つける。 ・具体的に、何をするか行動計画（ピア・サポートプラン）を作成する。	・ワークシート -1を配付する ・震災の被害で大切な人を亡くした子どもがいる場合など、心的ストレスを加えることがないように、「してもらってうれしかったこと」「してもらってうれしかったこと」など、行動面に着目した内容を扱うようにする。 ・発表し、内容を板書する。
まとめ	・みんなに感謝	・一生懸命、お友達のために考えてくれたことに対する感謝の気持ちを伝える。実行できるように促す。

事後対応

- ・ワークシート -1を学級に掲示し、感謝の気持ちをみんなで大切に、友達のために役立つ行動を実行できる環境をつくりましょう。
- ・異学年交流や、地域との交流など、学校行事とあわせて行動計画（ピア・サポートプラン）を作成し、実行できるしかけをつくってください。
- ・友達にしてもらって、うれしかったことなど、一定期間がすぎたら、感謝の気持ちをフィードバックする機会を持ち、更なる思いやりあふれる行動の動機付けをはかりましょう。

ワークシート -1

友達っていいなあ・人間っていいなあ

してもらって、うれしかったこと

私のサポートプラン

なまえ